

2017 - 18年度 RI テーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

Rotary International  
国際ロータリー会長  
イアン H. S. ライズリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

変革の時代、創造のとき。  
新たな一歩で感動を！

第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
YAO EAST ROTARY CLUB  
●創 立：1973年2月23日  
●会 長：大松 桂右  
●幹 事：高岡 正和  
●会報委員長：安田 憲司

今週のプログラム

第2165回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「君が代」「四つのテスト」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会員及び会員夫人誕生月祝  
大橋会員、木村会員、大松会員、安田会員  
上山夫人、松本夫人、森下夫人、山田夫人
- ⑤ 会員結婚記念日祝  
奥田会員、品川会員、森下会員
- ⑥ 会務報告  
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑦ 委員会報告  
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑧ IMRD全体打ち合わせ
- ⑨ 閉会 点鐘

\*例会前：第25回IMRD実行委員会

★例会後：2月度定例理事会

\*2/3(土)

地区ロータリー財団 地区補助金管理セミナー

於：大阪YMCA会館2Fホール

登録13:30~14:00 開会14:00~17:00

品川会長エレクト、長尾会長ノミニー

出席予定

来週の予定

第2166回例会 2月9日(金)

☆卓話 「私の履歴書」 浅井 寿徳会員

◎地区献血PR訪問 地区社会奉仕委員

えぼら かずしげ  
榎原 一滋様(吹田西RC)

☆「ロータリーの友」紹介

谷村 政哉広報・雑誌委員長

★例会前：次年度第1回理事役員会合

\*例会後：第26回IMRD実行委員会

前週の例会記録

2018年1月26日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2164回	28名	15名	68.2%	出席義務免除 7名(出1)
第2162回	28名	22名	91.7%	補 填 4名

ニコニコ箱

●皆出席祝、ありがとうございます。

本日のクラブフォーラム、よろしくお願い致します。  
大松 桂右会員

●フォーラムよろしく！職業奉仕について、今一度  
認識を高めましょう。  
品川 芳洋会員

●例会欠席おわび。  
森下 慶治会員

●先週欠席のおわび。  
桑田 タア子会員

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●今回合計 5,000 円

●会費と納入分 135,000 円

●累計 543,580 円



堀内会員  
地区クラブ奉仕・拡大増強委員会  
委員委嘱状



1月皆出席祝  
高岡会員・大松会員・辻田会員



ロータリー財団寄付  
PHF+5 森下会員  
PHF+4 桑田会員

## 会長の時間

本日は職業奉仕委員会部門の第4回クラブフォーラムです。

職業奉仕については、様々な観点から各会員の受け止め方があるように感じております。先日もIMRDのPRにて他のクラブに伺ったときに、職業奉仕についての卓話があり、そのクラブにおいても意思疎通を図っておられました。

本日のフォーラムを通じて、理解が深まればと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 幹事報告

今回は特にございません。

## 第四回クラブフォーラム報告

職業奉仕委員長

品川 芳洋

2018年1月26日(金) 14:00~14:30

テーマ 職業奉仕

司会 品川職業奉仕委員会々長

まず、品川職業奉仕委員長より、職業奉仕 (Vocational service) は奉仕という用語が使われているが他の奉仕の意味合いとは異なり、ロータリークラブにおいては上位理念で、天職に関わる崇高な概念であることを認識する必要があると説明があった。

中世、ローマカトリック教会の免罪符に象徴される宗教の墮落を批判したことに端を発する宗教革命により、仕事をして富を得て増やすことは神の意に沿うという資本主義の考え方が発展した。20世紀初頭に生まれたロータリークラブでは職業倫理をもって社会に奉仕することを目指した。この職業倫理の認識は、伝統的に“三方良し”という商いの基本を知る日本人には特に目新しいものではない。

江戸時代に大陸から取り入れた儒教の精神は社会秩序を形作るDNAとなって日本人には備わっている。

そこで今一度、自らの職業と社会への奉仕(貢献)について身近なことから考えてみようと、幾人かの会員にお話を伺うことになった。

池本会員: 歯ブラシをはじめとしてブラシ製造ということで、業界の代表的な企業を築き上げた。広く人々の衛生管理を担うことで健康づくりに貢献。利益を上げ、

税金を納めることで社会的義務も果たしている。企業経営による雇用創出も大きな社会貢献と認識している。また、商品開発、技術革新を通して、有能な人材育成を図っている。

**陣田会員（新入会員）：**

仕事 - 職業 - 社会貢献と言うつながりでとらえる機会があまりなかったものの、現在のアパレルの分野において、消費者の幸せを願って業務が支障をきたすことのないよう心掛けている

**桑田会員：**自動車部品の金型製造のためのツールを製造している。まず取引先の満足を得るよう品質管理等に日頃から留意している。日本の代表的な自動車産業の担い手として誇りがある。また雇用創出という大きな社会貢献もしている。

**鈴木会員：**測量という極めて専門性の高い職業を通して、土地の確定を通して不動産売買、相続に必要な要件を整え、提供することで社会の経済活動、資産管理・運用に大きく寄与している。また、相続等においては係争案件の調停、解決に貢献している。また、雇用をも創出する一方、専門的知識をもった人材育成を図り、社会に寄与している。

以上、本フォーラムを通して身近な仲間の職業と社会とのつながりを考察することができた。



第2660地区  
八尾東ロータリークラブ  
**YAO EAST ROTARY CLUB**